

ワーク・講義

プログラム番号 2903C

教職協働で学習支援に取り組む ー理想と現実のギャップを埋めようー

■講師

清水 栄子（愛媛大学 教育・学生支援機構 教育企画室 講師）

安田女子大学文学部英語英米文学科卒業。桜美林大学国際学研究科大学アドミニストレーション専攻修士課程修了。広島大学教育研究科人間科学専攻博士課程修了（博士（教育学））。2015 年 4 月より現職。愛媛大学、教育利用拠点等でアカデミック・アドバイジングや学習支援に関わる研修を担当。著書に『アカデミック・アドバイジングーその専門性と実践ー』（単著）がある。教職員能力開発拠点SDC／SPOD－SDC。

■プログラム概要

この研修では、「学習支援」を単位修得のためのいわゆる学修に対する支援のみでなく、正課外活動も含めた学生の学びに対する支援と位置づけています。学生にこんな学習者になってほしいという願いをこめて、教職員による組織的、個別的な学習支援が行われています。しかし、実際には理想と現実のギャップにジレンマを感じる場面もあるのではないのでしょうか。

本研修は、参加者のみなさんによるディスカッションを中心に進めていきたいと考えています。まず、米国のアカデミック・アドバイジングを事例として、組織的な目標設定や担当者のコンピテンシーについて紹介します。その後、参加者の学習支援の実践状況、課題、成功事例等を共有します。また、参加者それぞれの所属大学での学習支援担当者の行動指針を考えていただきます。ディスカッションとワークを通して、明日からの実践でのヒントの提供を目指しています。

■準備物や事前課題

所属大学での学習支援の実践が紹介できる資料があればご持参ください。

■主な受講対象

学習支援センター等の組織的あるいは個別的に学習支援に取り組んでいる教職員

■本プログラムの到達目標

1. 学習支援とは何かを自分の言葉で説明できる。
2. 所属大学での学習支援の現状を説明できる。
3. 所属大学における学習支援担当者の行動指針を作成できる。
4. 学習支援に関する多様な考え方や経験を尊重し、参加者間で共に学びあう雰囲気貢献できる。

■日時・場所

日時：平成30年8月29日（水）15：30～17：30

場所：香川大学幸町北キャンパス